

新型コロナ第9波はピークを越えた？ ／ 咽頭結膜熱が増加！

新型コロナウイルスの感染者数は西日本を中心にやや減少傾向となりました。8月6日までの1週間の速報値は大阪府で13.69人(前週14.66人)、全国では15.81人(同15.91人)と発表されています。夏祭りや花火大会、お盆の大移動などで、まだまだ感染機会が多いので今後も油断はできません。遅れて上がってくる病床利用率は、8月9日時点で大阪府は44%でかなり高くなってきています(昨年夏は8月24日がピークで67%)。



厚生労働省は流行の主流となっているオミクロン株の派生型の「XBB」系統に対応するワクチン接種を、生後6か月以上の全ての人を対象に9月20日より開始する方針です。一方で、高齢者や基礎疾患がある重症化リスクの高い人にも「努力義務」や「接種勧奨」を適用することを決めました。無料で受けることができる「特例臨時接種」の扱いは来年3月末まで続きますが、接種券の配布方法などが自治体によっては変更される可能性があります。

咽頭結膜熱が大阪市内で急増

プールでの接触やタオルの共用により感染することが多く、プール熱とも言われる咽頭結膜熱ですが、図のように急増しています。大阪市南部では4.67と警報レベルの3を大きく超えています。

原因は感染力の強いアデノウイルス(血清型としては主に3型、他に2,4,7,11型等)の感染で、一般に夏に流行しますが、秋～冬に小流行がみられることもあります。昔は学童に多いとされていましたが、1～5歳が6割を占める状況となっています。

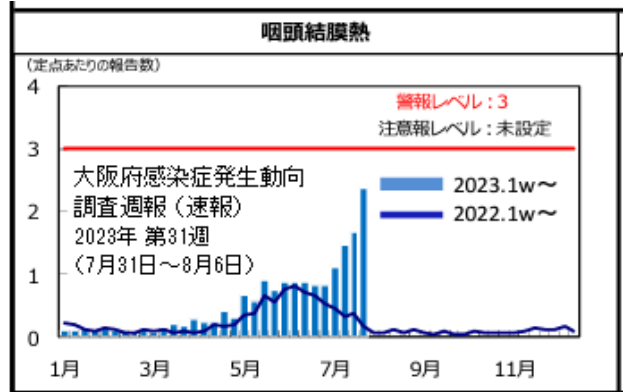
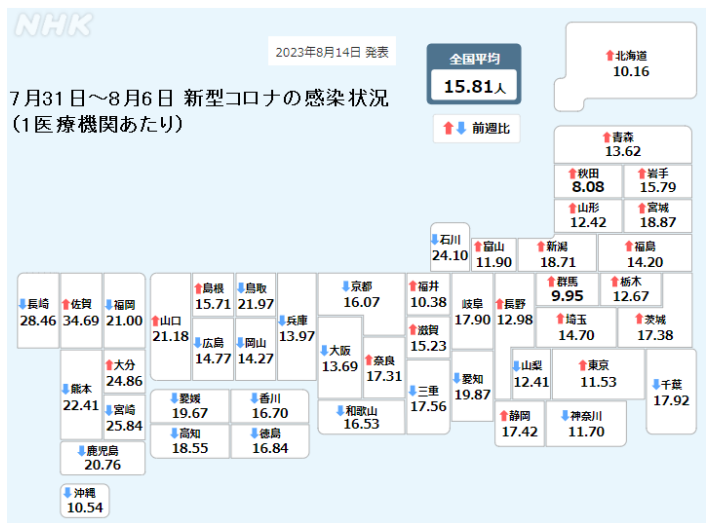
潜伏期は5～7日間で、発熱(38～39度)、のどの腫れ・痛み、結膜炎(充血、目やに、かゆみ、痛み、眩しい等)といった症状をきたします。多くは軽症で、約1週間で治癒しますが、新生児が感染すると重篤化する場合があります。注意が必要です。アデノウイルスに感染した子どもを看病する大人も感染するリスクが高いため、感染対策をしっかり行うことが大切です。



図1 咽頭結膜熱の症状: 結膜炎(左)及び咽頭炎(右)

(加藤小児科医院のHP転載)

2023年8月18日 産業医 井戸 正利



プール熱の感染経路と二次感染対策

感染経路 ※プール以外からも感染

- <プール>**
 - 目の結膜から感染
 - タオルの共用
- <飛沫>**
 - 咳やくしゃみ
- <接触>**
 - 手で口を触る
 - 目をこする

感染対策

- <プール>**
 - 遊んだ後、念入りにシャワー、手洗いがい
 - タオルの共有はNG
- <普段の行動>**
 - 手洗いは、30秒。アルコール消毒
 - 目をこすらないよう注意して見てあげる

ママの気を付け方

- お家でもマスクを
- オムツ替えの際は手洗い・消毒を
- タオルや食器の共用は避けてしっかりと消毒
- 感染した赤ちゃんの入浴は最後に
- 目やには直接手で取らず、ティッシュや清潔な布で優しく

辻堂たいへんたい耳鼻咽喉科(神奈川県藤沢市)のHPより